

平成 25 年度 新学術領域研究（研究領域提案型）審査結果の所見

研究領域名	ニュートリノフロンティアの融合と進化
領域代表者	中家 剛（京都大学・大学院理学研究科・教授）
研究期間	平成 25 年度～平成 29 年度
科学研究費補助金審査部会における所見	<p>本研究領域は、日本が世界を牽引するニュートリノ物理の学術水準の向上・強化につながる提案である。海外との競争も厳しい中、低エネルギーから高エネルギーまでのニュートリノ研究者（理論・実験）の有機的な共同研究体制により、ニュートリノの基本的性質の解明や新たな宇宙像を描こうとするもので、これまでの特定領域研究等による世界的な成果・実績を基礎にして、さらなる研究領域の発展が十分期待できる。各計画研究は、実績のある中堅研究者が担っており、役割や必要性も明確で成果と発展が期待できる。いずれの研究も世界の最前線の物理であり、若手研究者にとっても魅力的であるので、将来にわたる人材育成が望まれる。研究経費については、加速器、原子炉、地球大気、宇宙からのニュートリノ観測のための測定機器の高度化やプロトタイプ構築、さらに検出器の開発などが主な用途であり、対応する研究機関に適切に配分されている。</p>